



平成 29 年度 那覇市若狭公民館 事業報告



平成29年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	2
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇ WAKASA料理クラブ	3
〔2〕 成人講座	
◇ 今を生きる者たちへ～戦世からのメッセージ～	4
〔3〕 健康講座	
◇ “楽しくウォーキング” 週に3日のウォーキングを習慣に！！	5
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇ 戦前の学校と教育	6
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇ 森の家みんな宿泊学習「わくわく森の探検隊！」	7
◇ ワクワクこどもアニメ教室	8
◇ トヨタ・科学のびっくろ箱！なぜなにレクチャー	9
◇ 第23回ナイトウォーク	10
〔2〕 青年講座	
◇ うみそら上映会in若狭	11
◇ ソーシャルチェンジ～私たちが考える高齢者の防災への一歩～	12
〔3〕 放課後子ども教室	
◇ 若狭公民館地域子ども教室	13
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇ 子育て世代のためのスマホ入門教室	14
6 その他の事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇ 地域でしゃべり場～地域防災・防犯について考える～	15
◇ 日本一の公民館から学ぶ！住民主体の地域づくり	16
◇ Happy Nepali めんそーれ沖縄	17
◇ リッカ！ヤールーキャラバン！	18
◇ 第21回若狭地域文化祭	19
◇ CGG年末美化清掃プラスONE	20
◇ 新春もちつき大会	21
〔2〕 自主事業	
◇ 第4回こども国際映画祭in沖縄（KIFFO）こどもワークショップ	22
◇ 合同朝食会	23
◇ 移動式屋台型公民館を活用した住民主体の 「つどう・まなぶ・むすぶ」創造拠点創出事業	24
7 第26回若狭公民館まつり	25

1 学習風景

市民講座
「WAKASA料理クラブ」



家庭教育学級
「子育て世代のためのスマホ入門教室」



青年講座
「うみそら上映会in若狭」



地域連携事業
「日本一の公民館から学ぶ！住民主体の地域づく



少年教室
「森の家みんな宿泊研修「わくわく森の探検隊！」」



成人講座
「今を生きる者たちへ～戦世からのメッセージ～」



地域連携事業
「リッカ！ヤールーキャラバン！」



共催事業
「こども沖縄国際映画祭in沖縄（KIFFO）」



2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

Wakasa 料理クラブ

趣 旨： 日常の食事作りに利用できる“覚えておくと便利な料理・誰でも簡単に手軽に作れる料理”を中心に、楽しく料理をする。また、楽しい情報交換の場としての役割も持たせる。

日 時： 平成29年6月・7月・8月・10月・12月の月1回（土曜）全5回 14時～17時

場 所： 那覇市若狭公民館 実習室

対 象： 那覇市在住・在勤・在学で料理に興味のある方

受講料： 無料（但し、材料費1,000円は自己負担）

定 員： 12人（先着順）

参加延べ人数：60人

講 師：東 澄子（NPO地域サポートわかさ 職員）

プログラム

	実施日	内 容	参加人数
第1回	6月24日	常備菜作り「鶏ごぼう・万能肉みそ・きのこ小松菜の酒蒸し」	14人
第2回	7月15日	夏バテ予防「夏野菜の揚げびたし・サラダうどん・山形のだし」	12人
第3回	8月19日	行事料理「ばらちらし寿司・基本のお吸い物」	10人
第4回	10月21日	休日のランチ「パンキッシュ・チョップドサラダ・冷製スープ」	13人
第5回	12月16日	わが家のおせち料理「煮しめ・伊達巻・くるみ入り田作り・手まりきんとん・京風お雑煮」	11人



（受講者の声）

- ・料理のレパートリーが増えて嬉しいです。
- ・みんなで協力して楽しく料理をすることが出来て良かったです。
- ・普段利用したことのない食材の利用法や味を知ることが出来て良かったです。
- ・食材の切り方や盛り付けの工夫で、お洒落なおもてなし料理になることに驚きました。

（まとめ）

旬の食材を使い、手軽に作れる料理をと考えメニュー作りをしました。地域行事が台風のため、日にちが変更になった事により、当初予定していた回数が出来ませんでした。毎回 参加者の皆さんには満足して頂き、良い講座になったと思います。最後に作ったおせち料理では、自分では作れないと思っていた料理がわりあい簡単に作れることを知り「今年の正月は手作りのおせちを作ってみます」との嬉しい声を聞くことが出来ました。

〔２〕 成人講座

今を生きる者たちへ～戦世からのメッセージ～

趣 旨：排他的な雰囲気や不安定な世界情勢が広がる中、今改めて“平和とは何か”“幸せとは何か”を考え、「今を生き、よりよい未来を創造する」ために過去から学ぶことは重要である。また、戦争体験者の生の声を聞くことで、他者の痛みや苦しみに想いを馳せ、人として大切なものを育てていくための大切な機会とする。

期 間：平成29年6月10日（土） 14:00～16:00

場 所：那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤の方

受講料：無料

定 員：30人

申込人数：37人

参加人数：31人

講 師：渡口 政史（沖縄タイムス 総合メディア企画局 デジタル部主任）

島袋 文雄（元安謝小学校校長）

学習プログラム：

日付	内容	講師	人数
6/10	第1部：沖縄戦デジタルアーカイブ 戦世からぬ伝言 沖縄タイムス社が作成した「沖縄戦デジタルアーカイブ 戦世からぬ伝言」をもとに、改めて沖縄戦を考える。	渡口 政史 氏 (沖縄タイムス 総合メディア企画局デジタル部主任)	31人
	第2部：沖縄戦と私 九死に一生を得る 戦争体験者から直に体験談を伺い、「今を生き、未来を創る」ために何ができるのかを考える。	島袋 文雄 氏 (元安謝小学校校長)	31人



(参加者の声)

- ・ 沖縄戦デジタルアーカイブは時間をかけて勉強し、自分の生き方に活用したいと思った。
- ・ いつの世の中でも戦争はやってはいけないものですね
- ・ 戦争体験の実話が今後将来（未来）に向けて二度と起きないよう。絶対戦争はNOである。
- ・ 島袋先生のお話に心うたれました。初めて耳にすることもありました。

(まとめ)

沖縄戦をデジタルアーカイブで俯瞰する視点と、個人の戦争体験という焦点をしぼった視点の両方からみることによって、改めて“平和とは何か”“幸せとは何か”をこれからも継続して考えていくための機会にすることができた。一人ひとりが繋いでもらった命を大切に生き、同じように他者の存在を大切にし、それを次の世代にもしっかりと伝えていくことが重要だと思う。



〔３〕 健康講座

“楽しくウォーキング” 週に3日のウォーキングを習慣に！！

趣 旨： 歩く習慣を身につけることにより、日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心掛け、健康でより楽しい日常を送る事を目指し、11月12日（日）に開催予定の「ひやみかち なはウォーク2017」への参加を目指す。

日 時： 平成29年9月1日、8日、15日、22日（金曜）19：00～21：00（全4回）

場 所： 那覇市若狭公民館ホール・若狭海浜公園及びその周辺

対 象： 那覇市在住・在勤・在学の方

受講料： 無料（但し、保険料200円は自己負担）

定 員： 30人（先着順）

参加延べ人数：61人

講 師： 堀川 恭登（那覇市スポーツ推進委員）

プログラム：那覇市健康ウォーキング推進事業

回	実施日	内 容	活動場所	参加人数
第1回	9月 1日	人体の仕組み 骨格と筋肉 / 心臓と血管	若狭公民館ホール 若狭海浜公園	19人
第2回	9月 8日	ウォーキングの基本姿勢と効果的な歩き方を学ぶ	若狭海浜公園及びその周辺	15人
第3回	9月15日	自分に合ったウォーキングの時間と速度（自分のペースを知る）	若狭海浜公園及びその周辺	11人
第4回	9月22日	ウォーキングのマナーに気を付けて7.8kmのコースを歩いてみよう！！	大門まーい（若狭 → 久米 → 東町 → 西町 → 若狭）	16人



（受講者の声）

・先生の話がおもしろく、分かりやすかった。毎回楽しく参加することが出来ました。・毎日ウォーキングしようと思っても一人だといじょうになってしまいやめてしまいました。今回、ウォーキング講座のお誘いを受け参加しましたが、おしゃべりをしながら楽しくウォーキングが出来て良かったです。・最近運動不足を感じていましたが、この機会にウォーキングを始めたいと思います。

（まとめ）

今回の講座は、”楽しくウォーキング“をテーマにし、新しく変わった若狭の海岸線を歩いたり、みんなでしゃべりをしながらウォーキングの楽しさを感じていただきたいと思います。参加者が少なかった事が残念ですが、参加された方々は、楽しくウォーキングをする事が出来、満足された様子でした。健康づくりポイント制度の紹介をすると共に、ひやみかちなはウォークへの参加呼びかけをしました。

後日、公民館でまとめて申し込む予定になっています。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

戦前の学校と教育

趣 旨 : 戦前の那覇の学校教育について、その所在地や学習環境などを知る講師の話や資料などから、那覇の教育の変遷や内容の概要を学ぶ。また、校歌や職員名簿などから当時を懐かしむ時間をもつ。

期 間 : 平成29年12月6日(水) 14:00～16:00

場 所 : 那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象 : 那覇市在住在勤の方

受講料 : 無料(但し、資料代500円は自己負担)

定 員 : 30人

申込人数: 35人

参加人数: 35人

講 師 : 島袋 文雄(元那覇市教育史編纂主任)

学習プログラム

回	日 時	内 容	講 師	人数
1	12月6日	戦前の那覇の学校について、当時の学校所在地や校歌、教育を振り返り、その変遷をたどっていく。	島袋 文雄 氏 (元那覇市教育史編纂主任)	35人



(参加者の声)

- ・ 戦前は貧しくはあったが、心を豊かだった。お話が座談調で親近感があり、とても良かった。
- ・ 戦前、戦後の教育や学校の変遷について、詳しくお話していただき、懐かしく参考になりました。資料が詳しく、昔のことがよくわかりました。
- ・ 祖父母や叔父叔母から聞いた学校の歴史や当時の様子を懐かしく思い出した。
- ・ 初めて知ったことが沢山ありました。懐かしい先生方のご氏名を久しぶりに拝見しました。
- ・ 質の高い、よい資料で島袋先生のわかりやすく興味深い内容(の話)だった。

(まとめ)

教員の経験があり、歴史にも詳しい講師を招いて講座を行った。現在も戦前の歴史を引き継いでいる学校がある一方、名前は同じでも歴史が繋がっていない学校があるなど様々で、戦前の地図や校舎の写真などを見ながら歴史を振り返った。参加者の中には元教員や当時の学校で学んだ経験のある方がおり、懐かしんでいる様子だった。また、自分自身は経験していないが、家族や親戚が生きた時代のことを知りたいと参加された方もいた。反省点としては、参加者からの質問を会場全体でうまく共有することができず、もったいない場面があったが、当時の校歌を歌ったり、職員名簿から懐かしい名前をみつけたりと和やかな雰囲気ですすめることができた。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

森の家みんな宿泊学習「わくわく森の探検隊！」

趣 旨： 現代の子どもたちは、外遊びや自然体験をする機会が少なくなっている。そこで、気軽に行くことのできる身近な森を探索し、多様な生物と触れ合い自然を体感する機会とする。

期 間： 平成29年8月4日（金）8：30～ 8月5日（土）14：30 1泊2日

場 所： 那覇市立森の家みんな、末吉公園

対 象： 那覇市在住、在学の小学4・5・6年生

受講料： 無料（但し、保険料・交通費・宿泊費・食費1,500円は自己負担）

参加人数： 17人 / 那覇市子ども会育成連絡協議会ジュニアリーダー 4人

学習プログラム

回	月 日	内 容	講 師	人数
	7月29日	オリエンテーション（保護者同伴）		32人
一 日 目	8月4日	若狭公民館→みんな（モノレールで移動） 森の指令ゲーム、森の酵母でパン作り 夕食カレー作り、夜の森の観察会	那覇市立森の家みんな 指定管理者 沖縄自然環境ファンクラブ 代表・理学博士：藤井晴彦氏	17人
二 日 目	8月5日	森の酵母でパン作り、森のネイチャーゲーム	沖縄自然環境ファンクラブ 職員：赤嶺良弥氏、計良亨氏	17人



（受講者の声）

虫がどこにいるのか知った。森の探検はとても楽しかった。

森の指令ゲームはいろいろな虫がいるよ！いろんな花もあるよ、ということがよくわかってよかった。

自然とふれ合うことも大切だということ。パンが一日で大きく膨らむこと。

（まとめ）

ゲームを通して生物の生態を知り、朝、昼、夜と森を探索することで自然の雰囲気を感じ、充実した時間を過ごした。ジュニアリーダーのサポートもあって、仲良く協力し合ってプログラムをこなしていた。

ワクワクこどもアニメ教室

趣 旨： 近年、工作・物作りをする機会が減ってきている中、実際に製作・体感しながら学び、モノづくりの大切さや楽しさを感じてもらおう。作品を作るという経験を通じて「形になる喜び」や「達成感」を体感する。

期 間： 平成29年8月16日（水）10：00～12：30

場 所： 那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住、在学の小学生、中学生

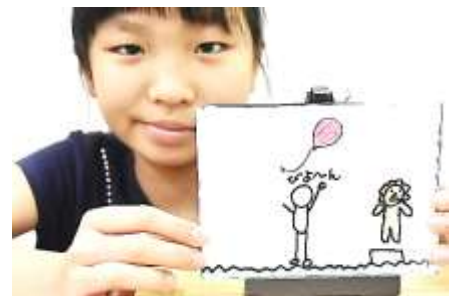
講 師： 真喜屋 力（映画監督）

受講料： 無料（但し、保険料・材料費100円は自己負担）

参加人数： 17人

学習プログラム

・風船が描かれた15枚の用紙にパラパラマンガの要領で絵を描いていく。1枚1枚写真を撮って繋げて再生すると、赤い風船が色んなところを旅していく、アニメーションが出来上がる。



（受講者の声）

- ・楽しかった！！
- ・いつも当たり前のように見ることが出来るアニメだけど、それを放送するまでいろんな人の苦勞を学びました。
- ・作っていくととてもたのしくなったのでなんでも挑戦したい。
- ・絵をかくのが楽しかった。
- ・これからアニメを見るときには今回の教室のことを思い出しながら楽しみたいと思います。
- ・とてもたのしかったから、またやりたい。
- ・ちいさな紙で15枚ぐらい絵をかいたらストーリーアニメなどができることがわかった。

（まとめ）

小学生から中学生まで幅広く参加し、映像作品を作る面白さや魅力を楽しみながら学ぶことができた。完成した作品を鑑賞し、自分が作成した映像と他者が作成したものを鑑賞することで視点の違いを楽しんだ。映像の原理を理解することでもっと作ってみたいという創作意欲が生まれた。

トヨタ・科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー

趣 旨 : 理科離れに対するアプローチとして、トヨタ自動車との共催で科学工作教室を行う。座学で仕組みを理解するだけでなく、実際に製作・体感しながら学び、モノづくりの大切さや科学の楽しさを感じてもらう。

期 間 : 平成29年9月3日（日）10:00～12:00

場 所 : 那覇市若狭公民館 ホール

対 象 : 小学4・5・6年生

受講料 : 無料

定 員 : 40人

申込人数 : 40人

参加人数 : 39人

講 師 : トヨタ技術会の有志メンバー

学習プログラム

回	日 時	内 容	講 師	人数
1	10月3日	飛行機が飛ぶ原理を実験やデモ機で理解した後、実際にオリジナルの「もけいひこうき」を作成し、飛行実験・滞空時間の記録会を行った。	トヨタ技術会の 有志メンバー	39人



(参加者の声)

- ・ 紙飛行機はつくったことあったけど、こんな飛行機は初めてで、あまりとばせなかったから、次はもっととばしたいです。
- ・ 飛行機のとぶ仕組みがよく分かった。次回も参加したいと思う。
- ・ 最初は上手に飛ぶかわからなかったけど長い時間ちゃんと飛ばせられて良かったです。
- ・ ひこうきが、何で飛ぶのか、どうしてその部品がひつようなのかわかった。
- ・ 作るのもよく教えてくれて、しかもあそんでたいけんできるからよかった。
- ・ (飛行機の) 重心をちょうせいしてもっととばしたい。たくさんいろいろなことがわかったし、きろくものびたので良かったです。

(まとめ)

飛行機が飛ぶ仕組みを座学で学んだ後、グループに分かれて「もけいひこうき」を作成。その後、飛行実験や滞空時間の記録会などをし、理論と体験を通して学ぶことをつなげることができた。講座終了後に「(家で) 改良して、もっと飛ぶようにする」と探究心をのぞかせてくれた子もいた。ものづくりの楽しさやおもしろさを体感できる講座なので、他のプログラムも開催しながら、今後もつなげていきたい。

第23回ナイトウォーク

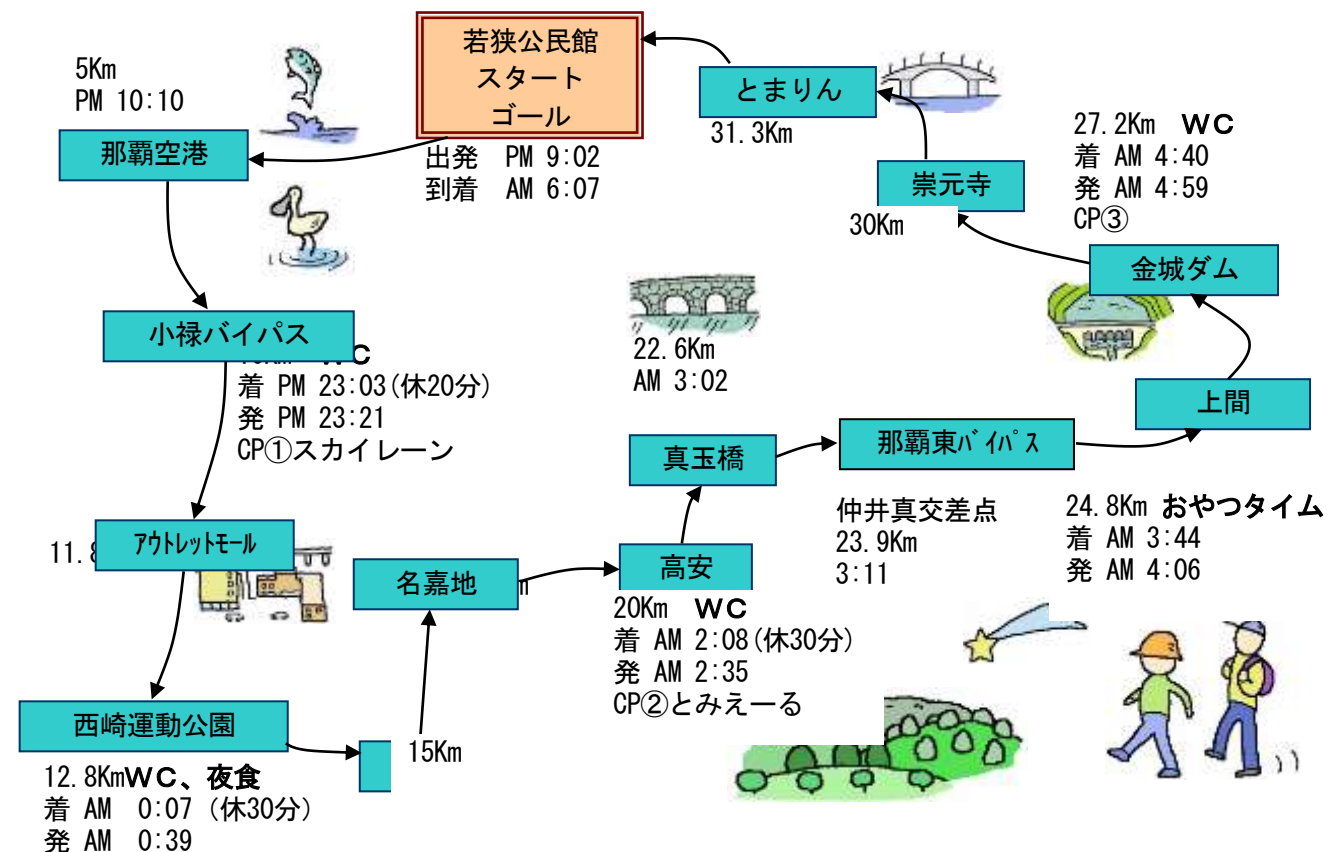
趣 旨：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより
連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。

期 日：平成30年3月17日（土）19：30集合 ～ 18日（日）7：30解散

対 象：那覇中学校及び上山中学校の生徒

受講料：無料（但し、夜食・朝食・おやつ代、保険料その他1,000円は自己負担）

参加人数：生徒34人、スタッフ39人（職員を含む） コース：32キロ



左：歩行中の様子、横断時はスタッフが安全指導 / 中：チェックポイントで休憩の様子 / 右：32kmを歩ききってゴール！

（まとめ）

今年で23年目となるナイトウォークは、医療法人陽心会をはじめ、地域の方々、那覇市ウォーキング協会、那覇市職員などの協力を得て、事故や怪我もなく、無事に終了することができた。雨天時の生徒同士の声掛けや、途中リタイアしそうな友達をばげます姿もみられ、多くの参加者が完歩することができた。ただ、例年より参加者が少なかったなので、日程や広報を工夫し、より多くの生徒が参加できるようにしたい。

〔2〕青年講座

うみそら上映会 in 若狭

趣 旨：有志が集まり上映方法や内容を企画立案し、若狭海浜公園で懐かしの映画や地域の映像を鑑賞する。
上映会を通して近隣住民だけでなく、世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場とする。

期 日：【実行委員会】平成29年7月3日（月）、7月19日（水）、8月14日（月）9月12日（火）
【上映会】 平成29年6月30日（金）7月28日（金）8月25日（金）9月29日（金）
10月20日（金） 各回共に19：30～20：30

場 所：【実行委員会】若狭公民館第2研修室 【上映会】若狭海浜公園、若狭公民館第1研修室

参加延べ人数：【実行委員会】28名 【上映会】307名

対 象：地域の方々

実行委員会			
回	日 時	内 容	参加者数
1	7月3日19：00～21：30	1回目の上映会を振り返り、改善点・アイディア出しを行う。	5名
2	7月19日19：00～21：00	振り返り、アイディア出しを行い実現に向けて役割を割り振りする。	8名
3	8月14日18：30～20：30	設営・撤去の人員配置、出店・受付の改善点を話し合う。次回作の案出し。	6名
4	9月12日18：00～21：00	これまでの振り返り、役割・改善点確認、10月の上映作品選定。	9名

上映会				
回	日 時	内 容	実行委員	参加者数
1	6月30日	短編映画「わたしの宝もの」/「こども国際映画祭in沖縄〈K I F F O〉」関連映像	7名	80名
2	7月28日	8ミリフィルム上映「赤い風船」/懐かし8mm映像	12名	81名
3	8月25日	ワクワクアニメーション特集/懐かし8mm映像「1970年代 辻ジュリ馬」	14名	87名
4	9月29日	コマ撮り映画「ぼくたちの通学路わたしたちの学校」/懐かし8mm映像	21名	39名
5	10月20日	短編映画「やぎの散歩」、「こころ、おどる」/懐かし8mm映像	18名	20名



（参加者の声）

- ・初めての体験でしたが、いろんな年齢の人達が集まってすごく雰囲気が良かったです。
- ・商業ベースではない手作りの上映会、おもしろいです。8mmよかったです。

（まとめ）

若者、中高生が自発的に実行委員としてボランティアを申し出た。実行委員会では上映作品の選定、上映会の企画・運営について話し合い、アイディアを上映会に活かし、受付や出店など工夫し回を重ねるごとに内容も充実していった。企画から運営まで地域の方が主体となり動くことで、地域に根差した取り組みが出来た。

公民館合同講座 ソーシャルチェンジ～私たちが考える高齢者の防災への一歩～

趣 旨：高齢者の防災について高齢者や講師の話しを踏まえながら、（株）教育と探求社のソーシャルチェンジ

ジファーストを活用して、現役教師によるファシリテーターでアクティブニングを体験する。防災についての課題解決をポスターセッションで発表し、互いの考えを共有して、防災への意義を高めていく。

日 時：平成29年12月2日（土）9時～17時

場 所：那覇市津波防災避難ビル（3F）

対 象：那覇市在住・在学の高校生、青年（25歳まで）一般観覧者

受講料：無料 定 員：25名（先着順）

申込人数：6名（うち受講決定人数6名） 参加人数：18名

講師名：球陽高等学校 教諭 中村 元紀

NPO法人地域サポートわかさ 事務局長 宮城 潤

特定非営利法人Ubdobe okinawa 仲宗根 千晶

富士通株式会社元東日本復興・新生支援本部長 濱田 真輔

（参加者の声）



時 間	内 容
8:30～9:00	受付開始
9:10～10:05	開会の挨拶・講師紹介・講座の趣旨説明 / 中村 元紀
10:05～10:25	○STEP1～STEP2（ブレインストーミング）
10:25～10:30	○STEP3（プレゼンテーション）
10:30～10:35	○休憩
10:35～12:30	○トークセッション 「若狭地域の高齢者から防災を考える」 宮城 潤 / 仲宗根 千晶 / 濱田 真輔
12:30～14:00	○昼食（作業を進めてもよい）
14:00～15:30	○企画会議・プレゼンテーション作り
15:30～16:25	○プレゼンテーション（参加グループの都合によりポスターセッションからプレゼンテーションに変更）
16:25～16:40	○投票集計・結果発表（若狭自治会シニア世代の皆様による投票）
16:40～17:00	○閉級式（写真撮影・アンケート記入・片付け）

○流れが良く、高校生の意識が高いことが知れました。○講師の選択が秀逸でした。

○長い時間でしたが、それを感じさせないくらい楽しく有意義な時間が過ごせたので良かった。

○年寄りとかかわりたいとの事は良かった。（高齢者の方から）

○もう少し人を呼び込みたかった。テストで追われたかな。次は多数意見を聞きたい。

○以前から興味があった講座だったので受講できてとても良かったです。防災だけでも難しいけど、さらに高齢者の問題まで？！と当初不安でしたが、高校生たちからいろんな意見を聞くことができ、新しい切り口で考えることができました。たくさんの学びをありがとうございました。

（まとめ）

講座が進むにつれて打ち解け、沢山のアイディアが出るようになった。グループ内で意見も交わされ、他グループを観察に行くなど活発な動きがあった。地域の方々も一般観覧者として参加して関心の高さが伺えた。

〔３〕 放課後子ども教室

若狭公民館地域子ども教室

趣 旨： 子どもたちの安全な放課後の居場所として公民館を利用することから、児童が地域社会の成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。また、エイサーをとおして郷土の文化・芸能に触れる。

日 時： 平成29年4月1日～平成30年3月31日（練習日）毎週火・木曜日17:00～18:00

場 所： 若狭公民館 ホール及び第1研修室

対 象： 若狭小学校、天妃小学校、那覇中学校の児童生徒

登録児童：18人

参加延べ人数：1,655人

指導者：岸本麗子（若狭1丁目自治会会長/若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

【練習日・参加イベントの内容】

月	内 容	参加人数	時間数
4月	波の上ビーチ「海びらき」オープンセレモニー・若狭一丁目自治会学事奨励会・若狭二丁目自治会総会 練習日（8回）	126名	11時間
5月	なんみん祭 練習日（8回）	98名	10時間
6月	練習日（9回）	104名	9時間
7月	遊YOU塾（北海道）交流会・若狭小PTA主催「わかさっ子祭り」練習日（8回）	138名	11時間
8月	一万人エイサー踊り隊・久留米少年の翼との交流会・練習日（5回）	113名	9時間
9月	若狭二丁目自治会敬老会・若狭一丁目自治会敬老会・練習日（8回）	116名	10時間
10月	練習日（9回）	125名	9時間
11月	若狭地域文化祭・天妃小PTA主催「天妃っ子まつり」辻老人憩の家福祉まつり・沖縄ガスまつり・練習日（8回）	189名	12時間
12月	子どもフェスタinなは・クリスマス会・練習日（5回）	167名	8時間
1月	新春もちつき大会・練習日（8回）	157名	9時間
2月	若狭一丁目自治会生年祝い・若狭公民館まつり・練習日（8回）	179名	11時間
3月	遊YOU塾（静岡県）交流会・練習日（9回）	143名	10時間



久留米少年の翼との交流会

（受講者の声）

- ・エイサーがうまく踊れるようになった。
- ・県外のお友達との交流会や一万人エイサーに参加できたのがよかった。

（まとめ）

沖縄の伝統芸能エイサーを習得し、地域の祭りや敬老会等、多様な場面で練習の成果を披露できたことで子どもたちの自身に繋がり向上心が育まれたと思う。また、地域の行事に参加することで、地域の一員としての自覚が芽生え、今後成長していく子どもたちの糧となるであろう。



一万人エイサー



新春もちつき大会

5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

子育て世代のためのスマホ入門教室

趣 旨 : 新年度に向けて、新しくスマホを持ち始める子どもが多くいるなか、心配や不安を感じている保護者も多いと考えられる。そこで、近年のスマホ事情やインターネット事情などについて学び、それを知ること賢く安全に利用するヒントを得る機会とする。

期 間 : 平成30年2月10日(土) 10:00~12:00

場 所 : 那覇市若狭公民館 第2研修室

対 象 : 那覇市在住在勤の方

受講料 : 無料

定 員 : 25人

申込人数: 12人

参加人数: 10人

講 師 : モバイルプリンス 島袋コウ

学習プログラム

回	日 時	内 容	講 師	人数
1	2月10日	スマートフォンやインターネットの基礎知識、近年の状況、トラブル事例などの紹介。質疑応答。	島袋 コウ 氏 (モバイルプリンス)	10人



(参加者の声)



- ・ スマホをこどもに持たせるための実用的な知識（を得たかった）。
- ・ 危険性に対しての知識がなかったので、教えていただいて少し安心しました。
- ・ スマホは怖いというのみのイメージだったが、具体的な内容がわかってよかった
- ・ こわい仕組みをどうとらえて対処するか
- ・ （講座で学んだことは）2つ3つありました。グーグルホームはびっくりしました。

(まとめ)

スマートフォンやインターネットの基礎知識から、その仕組み、近年の状況などをわかりやすく説明してもらった。便利なアプリやサイトなどの活用方法や子どもがスマホを持つ際の注意点なども知ることができた。グーグルホームなどの機器に実際に触れたり、ゲームを起動したりすることで、より関心と理解が深まった。「ゲームなどを『ダメ』と禁止するだけでなく、仕組みを知るために、あえて親が子どもと同じゲームを体験してみると見え方や対応の仕方も変わってくる」などのアドバイスもあった。参加者からも積極的に質問が出て、とても学びの多い時間となった。

6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

地域でしゃべり場～地域防災・防犯について考える～

趣 旨：近年の港湾開発などにより、急速に変化を続ける若狭小学校区域。この10年を振り返ると安心安全な地域づくりを目的とした団体が複数立ち上がっている。また、2011年3月に発生した東日本大震災を受け、災害時の対応など自助・共助への意識も高まりつつある。こういった状況の中、若狭小学校区に関係のある各団体や個人が集い、「地域防災・防犯」について共に考える場を設ける。若狭小学校区域のこの10年の変化や各団体の取り組みを踏まえ、地域のすべての人が安心安全に過ごせる地域を作っていくにはどうすればよいかを話し合う。

期 日：平成29年4月20日（木）18：30～21：00

会 場：那覇市若狭公民館 ホール

対 象：若狭小学校地区に関わる団体・個人／地域防災及び防犯に関心のある人／まちづくりに関わる人

受講料：無料

定 員：80人

参加人数：60人

登壇者：早川忠光（NPO法人地域サポートわかさ理事長）、上原廣保（若狭2丁目自治会長／地域見守り隊）、糸数武（若狭小学校区まちづくり協議会会長）、吉川盛之（NPO法人那覇西地域交流ネットワーク協議会理事長）、丸岡未（ナハ・シー・パラダイス共同企業体／うみそら公園管理事務所）、渡辺英二（那覇市立若狭小学校校長）、福原綾子（若狭小学校PTA会長／自主防災会）、平尾英二（那覇中学校区青少年健全育成協議会）

プログラム

日 程	内 容	参加人数
4月20日	各団体の現在の取り組みや課題を報告してもらい、お互いの団体がどのような活動をしているか知ってもらう事で、それぞれの団体が連携・協力できることはないか考える場を創出。	60人



（参加者の声）

地域の事情が分かり良かった／地域防災・防犯への取り組みや、若者の自治会等への参加の問題等色々学べた／波の上うみそら公園の取り組みに愛着が湧きもっと聞きたいと思いました／SNSの活用というのは若い人からの意見で私たちでは思いつかなかった。

（まとめ）

- ・若狭小学校区域のこの10年の変化や各団体の取り組みを踏まえ、地域のすべての人が安心安全に過ごせる地域を作っていくにはどうすればよいかを話し合うことができた。
- ・「地域防災・防犯」をテーマに、地域の多様なステークホルダーが集い、災害や犯罪に強い地域づくりについて、お互いにできること、今後取り組むべきことについて共に考えることができた。
- ・今後どのような地域にしていきたいか10年後の姿をイメージし共有できる場を作れた。

日本一の公民館から学ぶ！住民主体の地域づくり

趣 旨：若狭公民館エリアの地域づくりについて、全国の優良公民館の実践事例から学ぶ場を設ける。地域と密着した魅力的な取り組みが高い評価を得ている公民館の工夫や努力から公民館の取り組みとしてのヒントを得ると同時に、地域住民の視点で地域づくりについて考える場を創出する。

期 日：平成29年6月15日（木）18：30～21：00

会 場：那覇市若狭公民館 ホール

対 象：若狭公民館エリアの各自治会、PTA、まちづくり協議会、公民館利用団体、那覇市公民館職員、そのほか地域づくりに取り組んでいる方

参加費：無料

定 員：80人

申込人数：60人

参加人数：70人

講 師：田中 典子（福井市社北公民館 主事）、河内 ひとみ（大竹市立玖波公民館 主事）、南 信乃介（那覇市繁多川公民館 館長）

学習プログラム

日 程	内 容	人 数
6月15日	各公民館の事例を紹介してもらい、住民主体の地域づくりをするためにどのようにして「楽しく暮らせる地域・関わりたくなる地域活動」を実現していくか、参加者同士で意見交換をする。	70



（参加者の声）

3ヵ所の共通点として地域を知り、地域力を生かし、活かしている、そこにアイディアとやる気にさせる工夫がとても勉強になりました／PDCAがちゃんと回っていることが重要だと再確認しました／人と人とのつながり、自分の持っている、つながっている資源を知り、もっていない資源を託していくことがとても大切だとまなびました、本当にありがとうございました。

（まとめ）

- ・来場者はアンケートのチェック項目だけでなく積極的に記入する方が多く、多くの参加者の学びにつながった事を感じた。
- ・「全国優良公民館表彰」でグランプリを受賞した公民館の実践例を聞くことで、各地域・団体ごとの特色を生かした取り組みを考える場を作れた。
- ・「地域を楽しくするためのコツ」や「関わりたくなる地域活動の工夫」について共に考えることができた。
- ・「人がいない」「予算がない」「若い人が参加しない」なかでの成功例は、多くの人が諦めてしまい出来ない理由が思い付くなかで「何が出来るか」「どうやったら出来るか」を改めて見つめ直す勇気をもらえた。

Happy Nepali めんそーれ沖縄

趣 旨 : ネパール人留学生と地域住民の交流機会を作り、近隣住民どうしの相互理解を図る。ネパール人と地元住民が個人として関わり、顔が見えてあいさつが出来る人間関係を作る。

期 日 : 平成29年8月17日(木) 13:00~16:00

場 所 : 那覇市若狭公民館 ホール

対 象 : 那覇市在住、在勤のネパール人と日本人

受 講 料 : 無料

定 員 : 150人

参加人数: 32人



交流会プログラム

時間	内容	講師
13:40~	開会式: 沖縄ネパール友好協会 (ONFA) 代表あいさつ セレモニー: 三線 (しまうたの会) & ネパールの歌	ONFA代表 しまうたの会、ネパール人歌手
14:00	ONFA紹介 (What is ONFA+Q&A)	オジャ・ラックスマン、 サンジブ・シレスタ
14:25	中間交流: 台湾民族舞踊	台湾民族舞踊サークル
14:35	休憩 10分	
14:45	「やりたい事」「気になっている事」の掲示と共有	オジャ・ラックスマン
14:55	沖縄県那覇警察: 交通ルール・トラブル事例+Q&A	沖縄県那覇警察
15:05	那覇市役所: ゴミ分別+Q&A	那覇市秘書広報課
15:20	図書館利用案内+Q&A	那覇市若狭図書館館長
15:30	意見交換Q&A	那覇市若狭公民館館長
15:55	ネパールダンス	タミング・パルミラ
16:00	閉会式: 若狭公民館館長あいさつ セレモニー: カチャーシー (しまうたの会)	若狭公民館館長 しまうたの会

(ネパール人参加者の声)

「ネパール人として日本で良い事がしたいです。ネパールと日本の架け橋になることを期待しています。」

(日本人参加者の声)

「ネパール人も地域活動に参加してほしい。ネパールの観光地を知りたくなった。歌声が素敵でした。ネパールの音楽と舞踊を習いたいです。どういう沖縄に住みたいか語り合いたい。」

(ま と め)

参加延べ人数が想定よりも少なかった。当初、語学学校の協力を得て留学生がプログラムに参加することで出席扱いにしてもらう考えであったが、各学校との調整が上手くいかず「参加＝出席扱い」の許可を得ることが出来なかった。チラシやSNSを活用した告知、沖縄ネパール友好協会からの呼びかけなどを行うも留学生の参加人数は振るわなかった。参加者は少ないながらも、メディアを通して県内に住むネパール人留学生に公民館の存在を情報発信することが出来た。県民にもネパール交流会の取り組みを知ってもらい、沖縄にいるネパール人の現状を知ってもらうことが出来た。また、ネパール人に対してプラスの興味を持ってもらえた。次回交流会を企画するに際して各関係機関、沖縄ネパール友好協会、特定非営利活動法人沖縄NGOセンター、那覇警察署、近隣日本語学校とのつながりを活かしたい。

リッカ！ヤールーキャラバン！

趣旨：いざという時のために防災・減災について知識を身に付ける必要があるが、難しい避難訓練は参加しづらいという声もある。「リッカ！ヤールーキャラバン！」を通しておもちゃの交換をしながら楽しく防災体験が出来る場を提供する。

日時：10月14日（土）10：00～12：30

場所：那覇市津波避難ビル3F、4F

対象：中学生以下児童生徒

受講料：無料

定員：300名

来場者数：160名

参加人数：226名

学習プログラム：来場者：当日1回。 スタッフ：事前研修1回、リハーサル1回。

回数・日程・内容・参加人数

日時	内容	講師	参加人数
10月14日（土） 10：00	リッカ！ヤールーキャラバン 主催者あいさつ	地域サポートわかさ 理事長	226名
10：05	防災体操&バケツリレー スタンプカード配布	公民館職員及び各防 災プログラムの事前 研修を受けたスタッ フ	
10：30	かえっこバザール、各防災体験プログラムスタート ・水消火器で的あてゲーム・ジャッキアップゲーム・毛布で担架タイムトライアル・持ち出し品なあに？クイズ・家具転倒防止ワークショップ・応急手当ワークショップ・紙食器づくり・なまずの学校・とっさのひとこと・シーサー劇場・水害紙芝居		
12：00	オークション		
12：30	終わりのあいさつ	若狭公民館 館長	



（参加スタッフの声）

子供達が新しいおもちゃをゲットしてうれしそうな様子が見られて良かったです。クイズを通して沢山のことを学びました。

（まとめ）

防災プログラムをゲーム感覚で楽しみながら積極的に取り組んでくれる子供達が多くいた。子供達に教えることを通して防災減災の知識を深めるスタッフがいた。地域のボランティアスタッフ参加者が少なかったので、地域外から多く参加して頂いた。地域防災の点で更なる啓発活動が必要であると感じた。

第21回 若狭地域文化祭り

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施する。また高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と、地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図る。かつ、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成29年11月11日（土） 11：00～18：00

場 所：若狭公民館

参加延べ人数：1,500人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

プログラム

舞台発表	ジュニアジャズオーケストラ、ラテンダンス、若狭松山旗頭 他
こどもイベント広場	エアートランポリン、壺屋焼物博物館出張展示、
各種ブース	無料健康相談、保育園児によるお呈茶、 他
出 店	沖縄そば



第21回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。

舞台発表は、幼児・児童・生徒、地域婦人部、サークル団体等の発表の場となっているほか、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れる機会となっている。こどもイベント広場では、協力機関及び団体により内容を充実させることができた。台風22号の接近に伴う日程変更。屋内開催により出店が沖縄そばのみに縮小するものの、沢山の来場者に来ていただき活気のあるお祭りとなった。様々な機関・団体が主体的に関わって作り上げることができたことは、今後の地域づくりにも繋がると期待できる。

CGG年末美化清掃プラスONE

趣 旨：地域の各機関が一丸となって清掃をし、親睦を通して青少年健全育成を図る。自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体が参加し、若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施しプラスONE活動として若狭公民館利用団体連絡協議会による振舞いなべ（豚汁）を食べることで、親睦を深まることを趣旨とする。

期 間：平成29年12月10日（日）9：30～12：00

会 場：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、地域清掃（若狭中通り）

対 象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者など
参加者：180人

プログラム

	時 間	内 容		人数
1	9：30～ 11：00	地域清掃	オープニング、地域の清掃（若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園ほか）	180
2	11：00～ 12：00	シンメナービ交流会	シンメナービで豚汁・おにぎりを食べながら交流会（若狭公民館駐車場）	150



＜主な参加団体＞

ナハ・シーパラダイス協議会／若狭1丁目自治会／若狭2丁目自治会／若狭3丁目自治会／若狭めもと自治会
前島3丁目自治会／若狭市営住宅自治会／若狭小学校区まちづくり協議会／若狭公民館利用団体連絡協議会
若狭小学校／那覇中学校（順不同）

（まとめ）

地域が主体となってCGGの呼びかけを行い、自治会、学校、その他団体が参加し、旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園で、普段目が届かない所にある燃えるゴミ、燃えないゴミ、草木類、カン、ビン、ペットボトル等の清掃を行った。清掃終了後のプラスONE活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会の協力でシンメナービによる豚汁とおにぎりを振舞い、参加者同士の交流を深めることができた。今年度は例年以上にしっかりと分別を行う事が出来た。

新春 もちつき大会

趣 旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願って餅をついて新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成30年1月6日（土）10時～12時

場 所：那覇市若狭公民館玄関前

対 象：地域住民

参加費：無料

参加人数：参加者延べ人数：300名

【 プログラム 】

司会：若狭ちむどんどん太鼓（上原優菜、我那覇昊）

■開会の挨拶（若狭公民館館長 宮城潤）

■主催者挨拶（NPO法人 地域サポートわかさ 理事長 早川忠光）

■激励の言葉（若狭小学校校長 渡辺英二）

■新成人の挨拶（那覇中学校区成人式実行委員会）

■オープニング お正月の歌「一月一日」、合奏と獅子舞（あゆみ幼児学園）、
子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓）、獅子舞（波上宮獅子舞保存会）

■つき始め式 関係者紹介（若狭公民館館長 宮城潤）

つき始め（各自治会会長および関係者）

■餅つき体験と振る舞い餅



（まとめ）

近隣の保育園による獅子舞に合奏、エイサー、波上宮獅子舞保存会による迫力ある獅子舞など子どもたちの賑やかな幕開けに始まり、こどもからお年寄りまでたくさんの方が集い、楽しい餅つき大会となりました。

自治会、交通指導員、若狭・松山旗頭実行委員会協力のもと安心・安全に餅つき大会を進行することができました。

6 その他事業

〔2〕 自主事業

こども国際映画祭in沖縄 (KIFFO) こどもワークショップ

趣 旨：「多感な時期に映画を通じて世界を感じてほしい。世代や地域を超えた人間関係の世界を広げてほ

しい」との思いから開催されるこども国際映画祭in沖縄に向けて、こどもたちに映画の基礎知識を体験・習得してもらう。

期 間：平成29年9月18日（月・祝）、 9月30日（土）、 10月22日（日）

時 間：13:00～17:00 全3回

場 所：若狭公民館 ホール

対 象：9歳～15歳

受 講 料：無料

参加人数：延べ 142名

学習プログラム

回	月日	内容	講師	人数
1	9月18日	映画・映画祭ってなに？スタッフって何するの？ 10年後のKIFFOをイメージし、発表する。	宮平 貴子 (映画祭ディレクター)	47名
2	9月30日	「映画祭ごっこ」で実際の機材を使用し、映画祭の本番を疑似体験する。	与那嶺 圭一 (TEAM SPOT JUMBLE)	47名
3	10月22日	映画祭本番にむけてオープニング&クロージングセレモニーの練習をする。記者会見のリハーサルも行う	与那嶺 圭一 (TEAM SPOT JUMBLE)	48名



(まとめ)

全3回のこどもワークショップを通し、映画祭の仕組みを知り、参加者同士でコミュニケーションをとりながらイベントを作り上げる楽しさを感じることができた。1回目で映画祭を運営するにはこういった役割があるのか考えて話し合い、2回目・3回目では実際に使用する音響機器や映像機器を使用しながら映画祭本番に向けた実践的な学びを行った。大人ボランティアスタッフには事前にこどもの接し方に関するワークショップを行い、講師の補佐ができるようにしたので、こどもワークショップもスムーズに行うことができた。

6 その他の事業

〔2〕 自主事業

合同朝食会

趣 旨：毎月1回、おかず一品持ち寄りで開催している「朝食会」。県外でも関心を集め、いくつかの団体が似たような取り組みを行っている。その中で、熊本市立秋津公民館が「朝ごはんの集い」を開催しており、熊本震災で仮設住宅へ避難している方々が参加されている。今回は館長の宮城が秋津公民館のそばにある秋津仮設住宅に出向き、インターネット中継により熊本地震からの復興状況を伺いながら交流する。

期 間：平成29年6月24日(土) 8:30～10:30

場 所：那覇市若狭公民館 実習室（熊本市秋津仮設住宅）

対 象：那覇市在住・在勤の方

受講料：無料（但し材料費実費として100円徴収）

定 員：なし

参加人数：16人（秋津仮設住宅：27人）

学習プログラム

回	日 時	内 容	人数
1	6月24日	一品持ち寄りの朝食会を行う。今回は熊本市秋津公民館とインターネット中継でつなぎ、朝食をいただきながら交流する。	16人



（参加者の声）

- ・ 秋津公民館からは、歌あり楽器演奏ありの楽しい雰囲気が伝わってきた。通信状況が悪く声が聞き取りにくかったのは残念だったが、インターネットを通じてこのような交流ができるのはいい。
- ・ 仮設住宅の方々との交流で、復興状況について知ることができた。

（まとめ）

若狭公民館の名物企画となった「朝食会」が、県外の公民館でも実施されているのは嬉しい。秋津公民館は、震災の救援物資として送られてきた食料の消費期限が迫ってきたことにより、その活用方法を考えていたところ若狭公民館の「朝食会」に着想を得て「朝ごはんの集い」を開催するようになったということである。インターネット中継ではあるが、食を囲んだ和気藹々とした雰囲気の中で顔の見える交流ができ、ざっくばらんな質疑応答で被災からの復興状況を伺いすることができた。

7 公民館まつり

第26回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深めること。また、若狭および周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつ、まつりとしたい。

期 間：平成30年2月17日（土）、24日（土）、25日（日）

会 場：若狭公民館 参加延べ人数：2536人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
社交ダンスパーティー	17日（土）18：00～21：00	ホール	100
オープニング	24日（土）13：00～	公民館前道路	100
親子で作るお菓子の家	24日（土）10：00～12：00	ホール	45
体験教室「操体法・健康体操」	24日（土）14：00～15：00	ホール	25
展示発表	24日（土）10：00～17：00 25日（日）10：00～16：00	第1研修室 第2研修室	400
舞台発表	25日（日）12：00～16：00	ホール	1300
健康相談コーナー	25日（日）12：00～16：00	第2研修室	16
出店コーナー	25日（日）11：00～16：00	玄関	250
喫茶コーナー	24日（土）10：00～17：00 25日（日）10：00～16：00	2階ロビー	300



（まとめ）

第26回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体連絡協議会（50団体）が中心となって、舞台発表、展示発表、運営などを行った。体験教室では若狭公民館で活動している操体法サークルが「操体法・健康体操」を開催し、年齢性別問わず様々な方が参加し好評を得た。舞台発表では、地域サポートわかさの音響機材を使用したことにより、雑音が減少し、スムーズに運営することが出来た。多彩な演目により華やかではあったが、利用団体会員の高齢化が年々進んでおり、幅広い層に利用してもらい活性化に繋げる必要がある。

公民館まつり風景



親子で作るお菓子の家



オープニング



体験教室「操体法・健康体操」



健康相談コーナー



展示発表



舞台発表



社交ダンスパーティー



バザーコーナー